

# 令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

## 芸術科

教科	中学音楽	単位数	1単位	学科・学年・コース・組	2学年 A組・B組
使用教科書	中学生の音楽2・3上、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等					

### 1 学習の目標・内容・特色（目標を実現するための重要点を含む。）

表現（歌唱と器楽）と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

### 2 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	1. 歌唱 「夢の世界を」 「翼をください」 「夏の思い出」（中田喜直） 「夏の日の贈り物」等		10月	2. 器楽(ウクレレ) 「夢の中へ」等	
5月			11月		合唱に対する取り組み
6月	2. 器楽(ウクレレ) 「四季の歌」等		12月	3. 鑑賞 「交響曲第5番」 (ベートーヴェン)	
7月	3. 鑑賞 「フーガ ト短調」(J.S. バッハ)		1月	4. 楽典 ソナタ形式について	第2学期 期末考査
8月	4. 楽典 「拍子や曲の形式の理解」	第1学期 期末考査	2月	5. 歌唱 「サンタルチア」等	
9月	1. 歌唱 「荒城の月」(滝廉太郎) 合唱コンクールの練習		3月	6. 器楽(ウクレレ) プリント教材等	
				7. 鑑賞 「アイーダ」(ヴェルディ)等 「勸進帳」「新版歌祭文」から 「世界の諸民族の音楽」等	
				4. 楽典 「日本の音階」	第3学期 期末考査

※ 高校3年生は第4回定期考査まで受験

### 3 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の観点から行います。

- ①知識・技能    ②思考・判断・表現    ③主体的に学習に取り組む態度  
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ① 期末考査 楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。
- ② 実技テスト 大きな声で堂々と歌えているか等を評価する。基本的な奏法を身につけているか等を評価する。
- ③ 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができてきているか等を評価する。

1年間の評定は、一学期・二学期・三学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	芸術科		
教科	美術2	単位数 単位	学年・コース・組
使用教科書	美術2・3(光村図書出版)		
副教材等	手の芯材、粘土、アートガラスフレーム時計		

### 1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

①対象や事象を捉える造形的な視点について理解することと、意図に応じて自らの表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになる。  
 ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

### 2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション 粘土で手を作ろう		10月	透視図法	
5月	粘土で手を作ろう		11月	透視図法	
6月	粘土で手を作ろう		12月	透視図法	透視図法作品 ワークシート 感想文
7月	粘土で手を作ろう	手のデッサン作品 手の粘土作品 ワークシート 感想文	1月	時計盤のデザイン	
8月	キャラクターデザイン	キャラクターデザイン作品	2月	時計盤のデザイン	
9月	透視図法		3月	時計盤のデザイン	時計盤作品 ワークシート 感想文

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

### 3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ①知識・技能      ②思考・判断・表現      ③主体的に学習に取り組む態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ①画面の構成力や技法等、作品を作る上での基本的な知識をもとに評価。
- ②表現の意図と工夫、作品を作る上での表現方法をもとに評価。
- ③普段の授業態度や、感想文での内容をもとに評価。

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します